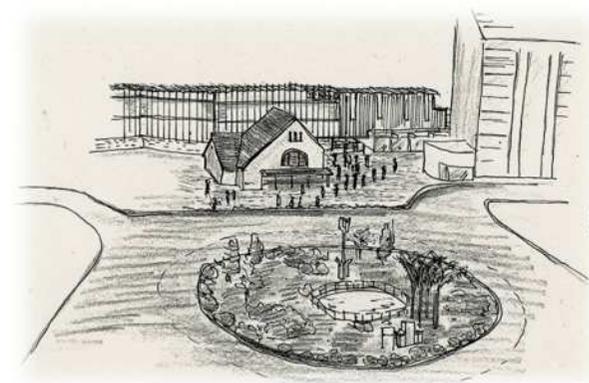


## 国立駅周辺に導入予定の公共施設機能の検討状況について



2015(平成27)年6月 まちづくり推進本部 国立駅周辺整備課

これまで国立市では、国立駅周辺まちづくり基本計画に基づき、国立駅周辺まちづくり会議、庁内検討会等で国立駅周辺の施設整備等について検討してきました。

平成27年第1回定例会建設環境委員会において、(1)国立駅南口複合公共施設(以下「南口複合公共施設」という。)、旧国立駅舎、国立駅東側高架下市民利用施設(以下「高架下市民利用施設」という。)の活用方法等を取りまとめた「国立駅周辺まちづくり事業の検討状況」及び、(2)南口複合公共施設について策定した「国立駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)」について報告しました。

4月に行った市民説明会において、公共施設の配置の在り方について議論がなされましたので、ここで改めて、南口複合公共施設及び高架下市民利用施設に導入予定の公共施設機能についての考え方を報告します。

## これまでの経緯 その1

### 1. 国立駅周辺まちづくり基本計画

国立駅周辺のまちづくりを進めていくに当たっての基本的方向性を示す「国立駅周辺まちづくり基本計画」を平成21年11月に策定しました。「人を大切にしたい魅力あるまち」「国立らしい個性的な店舗があり、快適にまちなかを歩き、美しい景観のまちなみを楽しめるまち」「新しい文化を発信していくまち」を目指すため、国立駅南北駅前広場、国立駅周辺道路、旧国立駅舎、高架下市民利用施設、南口複合公共施設などを整備する計画としました。

### 2. 国立駅周辺まちづくり会議

「国立駅周辺まちづくり基本計画」に基づき、専門家、市民、関係機関などが一堂に会して、国立駅周辺まちづくりを包括的にマネジメントするため、平成22年に立ち上げた組織です。会議の下部組織として「交通」「まち育て」「景観」の各検討部会を設け、「南口複合公共施設」「南口駅前広場」「都市計画道路の整備」等について、市民参加型による国立駅周辺まちづくりの課題解決のための検討を継続的に行いました。平成26年度までに検討部会も含め合計31回の会議を開催しました。

【まちづくり会議】	【交通検討部会】	【まち育て検討部会】	【景観検討部会】
10回	6回	12回	3回
合計31回			

### 3. 国立駅周辺整備庁内検討会

中央線連続立体交差事業に伴う国立駅周辺まちづくりに係る整備方針及び施策について検討するため、平成16年5月に組織した庁内検討組織です。国立駅周辺整備における各施設の機能配置の在り方や、実際に運営する場合の財政負担など実務的な検討を行ってきました。平成27年1月までに計44回の会議を開催しています。

平成16年度	4回	平成20年度	6回	平成24年度	3回
平成17年度	3回	平成21年度	7回	平成25年度	3回
平成18年度	3回	平成22年度	2回	平成26年度	4回
平成19年度	4回	平成23年度	5回	—	—

## これまでの経緯 その2

国立駅周辺に導入予定の公共施設機能の検討状況について

### 4. その後の検討経緯

平成27年4月2日、3日、4日に「国立駅周辺まちづくり事業の検討状況及び国立駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)に関する市民説明会・意見交換会」を開催しました。また、国立駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)に対するパブリックコメントも実施しました。

	南口複合公共施設	国立駅東側高架下市民利用施設
平成27年3月20日 ～4月30日	国立駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)に関するご意見の募集(パブリックコメント)開催	—
平成27年4月2日 4月3日 4月4日	国立駅周辺まちづくり事業の検討状況及び国立駅南口複合公共施設整備基本計画(素案)に関する市民説明会・意見交換会開催	
平成27年4月～	パブリックコメントを受けて検討	関係者(国分寺市・庁内担当各課)再調整

求めるは…

今よりも国立らしい魅力がプラスされるまち。



## コンセプト

国立駅周辺に導入予定の公共  
施設機能の検討状況について

国立らしさとは…

知のまち、歩むまち、育むまち、文教都市くにたち

すべきこと…

**「もっとくにたちを好きになってもらう」**

- ・人を“もっと集める“
- ・市民が「子育て」「文化」を“もっと広げる”
- ・市民を“もっと支える”

そのために…

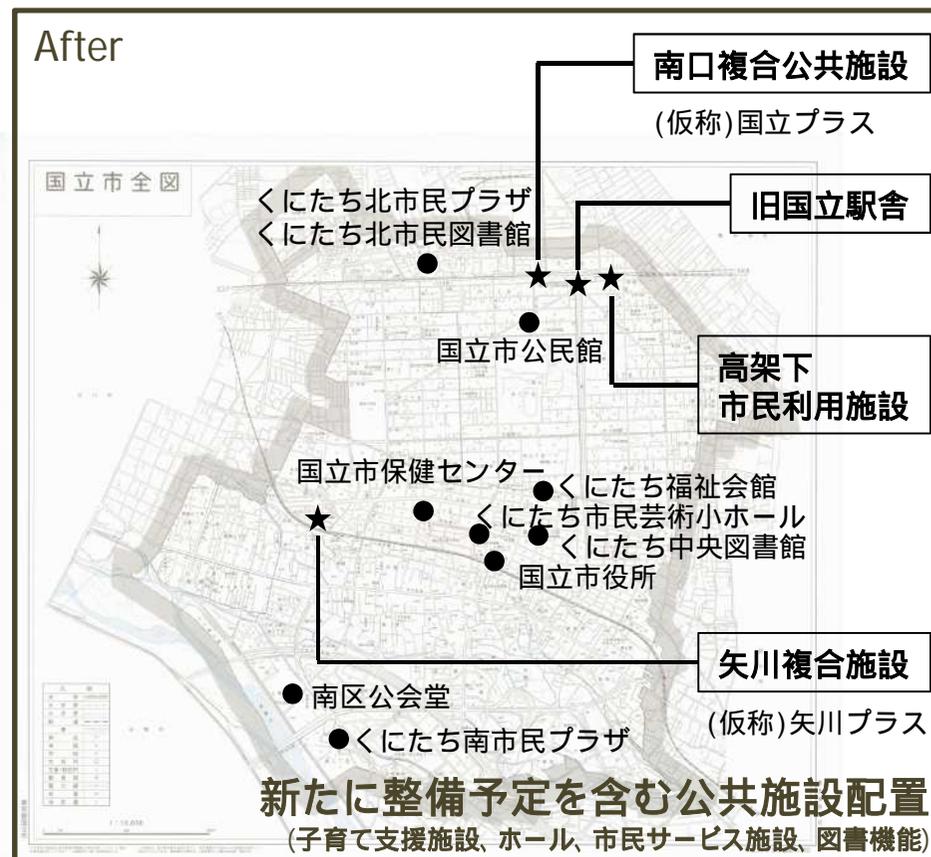
子ども・文化・にぎわい・景観・観光・市民生活をテーマに  
さらに輝く国立ライフを創造します。



## 公共施設配置レイアウト

国立駅周辺に導入予定の公共施設機能の検討状況について

新たに整備予定の導入機能については、どの機能がふさわしいか施設単独で検討を行うのではなく、  
変わり続ける社会状況を踏まえ、現在の公共施設の配置を念頭に、国立市全体を面として捉え必要な施設配置を検討します。



### 各施設の導入機能

南口複合公共施設	子育て支援施設(子育てひろば、一時保育、絵本の部屋)、多目的ホール、駐輪場、駐車場
旧国立駅舎	観光案内所、展示ギャラリー、オープンスペース
高架下市民利用施設	市民サービスコーナー、図書の貸出・返却、女性等相談、会議室、オープンスペース、展示ギャラリー
矢川複合施設	保育園、児童館、子ども家庭支援センター、発達支援室、多目的ホール(地域元気スタジオ)、屋外スペース

### 1. 概要

本施設を、まちづくりの拠点となる施設として整備することにより、「国立駅周辺まちづくり基本計画」で掲げる「市民の交流、文化の発信、にぎわい空間の創出」を実現化し、駅周辺における回遊性のあるまちづくりを目指します。また、「文教都市」という「強い個性・独自の強み」を活かし、国立市が国立市として将来においてもその存在を確固たるものとしていくため、人々が国立市のことをもっと好きになってもらう仕組みを本施設でつくり、発信します。

子育ての輪を広げるための子育て支援施設や国立の文化を拡げる多目的ホールを整備するとともに、生活利便施設等の民間施設を誘導し、民間活力を活用することにより財政支出の低減を図ります。

### 2. 導入予定機能

- (1) 子育て支援施設(子育てひろば、絵本の部屋、一時保育)
- (2) 多目的ホール
- (3) 民間施設(商業施設、フィットネス、飲食店など民間提案による)
- (4) 駐車場・駐輪場

### 3. 施設整備費

総事業費 約16億5千万円(用地費 約16億5千万円、施設整備は民間負担による)

### 4. 運営費等維持費

収入: 約6400万円/年(借地料等)

支出: 約1億7千万円/年(管理運営費等)

現在、事業における費用対効果等、事業コストについての検討を行っており、事業内容が変更になる可能性があります。

## 子育て支援施設とは・・・「親子が安心して遊べ、交流できる」場所

子育て支援施設ができれば

子どもの  
遊び場の充実

親子の交流  
親同士の交流  
子ども同士の交流

雨の日でも  
屋内で安心して  
遊べます

### 導入する公共機能 子育て支援施設

(子育てひろば(約400㎡)、絵本の部屋(約50㎡)、一時保育(約50㎡))

#### サービス概要

##### 子育てひろば

- ・親子が自由に遊べ、親同士が交流できます。
- ・子育てに関する情報を得ることができます。
- ・子育て相談をすることができます。

##### 絵本の部屋

- ・子ども向けの図書等があり、読み聞かせが可能です。
- ・子育て中の親向けの図書、雑誌等がそろっています。

##### 一時保育

- ・一時保育の実施を検討し、買い物など国立駅周辺を利用する子育て世代を支援します。

## なぜ南口複合公共施設に子育て支援施設を整備するのか。

### 課題

#### ・人口減少社会の到来

国立市は近い将来（平成32年）をピークに人口が減少することが予測されており、今後もまちが発展し続けていくためには、生産年齢人口の確保が至上命題となっています。

（参考：日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計） / 国立社会保障・人口問題研究所）

#### ・国立駅周辺における遊び場の不足

国立駅周辺には、親子が遊べる公園などの遊び場が不足しています。

#### ・在宅乳幼児等とその親への支援

在宅乳幼児等とその親が地域で孤立しないように、親子の交流の場や関連情報の提供などを行うことにより、対象者の負担軽減を図る支援が求められています。現在、これらの機能を持つ施設は、富士見台地域にある子ども家庭支援センター1か所のみです。

### 理由

#### ・良好な子育て・子育て環境の整備

子どもが安全に遊べ、親子の交流の場となり、子育ての相談を行う施設を整備する必要があります。

#### ・賑わいの創出

市内外から人を呼び込み、賑わいの創出、交流人口の増加が期待できます。

## 多目的ホールとは・・・「くにたちの文化・芸術が薫る」場所

多目的ホールができれば

講演会、  
説明会等に  
利用できます

文化・芸術を発信  
する国立らしい  
多目的ホールが  
できます

市民活動の  
発表の場として  
利用できます

導入する公共機能  
多目的ホール

(可動席、可動ステージを配備し、150～200人規模の演劇、講演会等が行えるホール(約400m<sup>2</sup>)を整備する。)

### サービス概要

文化・芸術に関する市主催事業の展開

- ・くにたちの文化・芸術の充実に資する市主催事業を展開し、文化・芸術の発信を図ります。

地域密着型、市民のための活動支援

- ・市民自ら発信し、市民が受信できる市民のためのホールです。
- ・市民活動の発表の場として利用できます(音楽、ダンスなど)。
- ・説明会、講演会など多目的に利用できます。

## なぜ南口複合公共施設に多目的ホールを整備するのか。

### 課題

#### ・文化・芸術事業の展開

国立の文化・芸術活動を推進するための、市民が地域に密着した活動をする場が不足しています。

#### ・市民活動を支える場の不足

第15回国立市世論調査において、市民がグループ活動、市民活動に参加するために市が行うべきこととして、「市民が利用しやすい公共施設の整備」が最も多い回答（49.9%）になっています。

### 理由

#### ・くにたちの文化・芸術の充実、発信

発表の場、機会を増やすことで文化・芸術を育み、発信することで、国立らしい魅力あるまちづくりに寄与します。

#### ・立地の良さ

文化・芸術事業は多くの人目に触れてこそその事業です。多くの人が行き交う国立駅周辺で文化・芸術事業を行うことはとても意義があります。また立地の良さを活かし、利用しやすい施設整備に努めます。

#### ・賑わいの創出

市内外から人を呼び込むことで、賑わいの創出、交流人口の増加が期待できます。

## なぜ南口複合公共施設に民間施設（商業施設等）を導入するのか。

### 課題

#### ・ まちの回遊性

魅力ある民間施設（商業施設等）を導入し、住んでいる人、訪れた人が歩きたくなるまちを形成することで、回遊性を高めることが求められています。

#### ・ 財政負担の軽減

財政状況を考慮し、財政負担の軽減効果のある手法が求められています。

### 理由

#### ・ 賑わい創出

民間施設（商業施設等）は、近接する商業施設及び既存商店街との相互の共存を前提とした機能・規模とすることで、より一層の賑わいの創出が期待されます。また住居が提案された場合には、人口増による利用者の増加が見込め、同様に賑わいの創出が期待されます。

#### ・ 公共施設との相乗効果

物販等の生活利便施設は、民間施設が本来担うべき分野です。民間施設が公共施設の機能を補完し、公共施設と複合化することで、一層の利便性の向上が見込まれます。

#### ・ 施設整備費の削減

民活方式を採用することで、市への収益還元を誘導し施設整備に係る費用の低減が期待できます。

## 南口複合公共施設に民間施設（商業施設等）を導入する際の主な考え方

### 商業施設等

- ・ **近接する商業施設及び既存商店街について**

近接する商業施設及び既存商店街との相互の共存を前提とした機能・規模（原則1店舗当たりの面積は500㎡未満）を有する商業施設等の誘導を図ります。

- ・ **公共施設との関係について**

導入を予定する公共施設との相乗効果が期待できる機能を有する商業施設等の誘導を図ります。

- ・ **住居が提案された場合には**

高さ制限（31m未満）を設け、周辺の環境・景観に配慮し、まちに賑わいを創出するとともに、国立らしさを実感できる住居を誘導します。

### 施設全体

- ・ **景観・環境への配慮について**

高さ制限（31m未満）、緑化、自然エネルギーの活用等により、文教都市くにたちにふさわしい景観・環境に配慮した施設を誘導します。

- ・ **その他**

壁面後退等により歩行者空間を創出し、駅周辺の回遊性の向上を図ります。また、民間事業者への意識調査を踏まえた施設配置を検討します。

### 1. 概要

JR中央本線連続立体交差事業により新たに国立市が利用可能となった国立駅東側高架下の面積約380m<sup>2</sup>と国分寺市が利用可能となった面積約130m<sup>2</sup>を活用して、2市共同で市民利用施設を整備します。

この施設に導入する機能やレイアウトについては国分寺市と協議中ですが、各種証明書の発行や図書の貸出し、女性等相談を行う予定です。また、市民が交流し、気軽に憩える空間としてのオープンスペース、相談室、会議室等も整備していく予定です。

### 2. 導入予定機能

- (1) 市民サービスコーナー
- (2) 図書の貸出し・返却
- (3) 女性等相談・啓発
- (4) オープンスペース
- (5) 会議室

### 3. 施設整備費

約2億4千万円

### 4. 運営費等維持費

約5千万円／年

現在、事業における費用対効果等、事業コストについての検討を行っており、事業内容が変更になる可能性があります。

## 5 . 市民利用施設の室内イメージスケッチ

国立駅周辺に導入予定の公共  
施設機能の検討状況について



## 高架下市民利用施設とは・・・「生活を手助けしてくれる」場所

高架下市民利用施設ができれば

平日夜間でも  
住民票等を受け取る  
ことができます

通勤・通学のおりに  
図書  
の貸出し・返却  
ができます

女性が抱える  
いろいろなお悩み  
を相談できます

### サービス概要

#### 市民サービスコーナー

- ・通勤・通学のおりに住民票等を受け取れるようになります。
- ・平日夜間でも住民票等を受け取れるようになります。

#### 女性等相談

- ・女性のライフステージ（妊娠、出産、育児等）における色々なお悩みを市役所に来庁しなくても、通勤・通学のおりに気軽に相談できるようになります。
- ・駅前では相談事業の周知や啓発イベント等を行うことで、より多くの市民に、女性相談事業を知っていただくことが可能になります。

#### 図書の貸出し・返却

- ・通勤・通学のおりに事前予約した図書を受け取れるようになります。

なぜ高架下市民利用施設（市民サービスコーナー、女性等相談、図書の貸出し・返却等）を整備するのか。

## 課題

### ・ 国立駅周辺における市民生活を支える施設の不足

現在、市内で住民票等が発行できる施設は市役所と北市民プラザであり、国立駅周辺にはありません。また、女性等相談を利用するには市役所に来庁する必要があります。

## 理由

### ・ 市民の利便性の向上

多くの通勤・通学者や市民が行き交う国立駅周辺に、平日夜間まで利用できる市民サービスコーナーを設置し、女性等相談や図書の貸出し・返却等ができる施設を整備することで、市民生活を支え、ひいては市民の利便性の向上が期待できます。

### ・ アクセスポイントを増やすことによるより多くの市民の救済

多くの通勤・通学者や市民が行き交う国立駅周辺において、女性等の相談・啓発を行うことで、潜在的な社会的要配慮者を積極的に救済できます。